



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's Men's CLUBS  
JAPAN EAST REGION TOHSHIN DISTRICT  
TOKYO MACHIDA SMILE-RING Y'S MEN'S CLUB

## 東京町田スマイリングワイズメンズクラブ



2020年  
4月号(第13号)

**THE SMILE-RING** Chartered in Feb. 2019

### 今月の聖句

わたしにつながっていなさい。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が、木につながってなければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながってなければ、実を結ぶことができない。

ヨハネによる福音書 15章 4節

### 《モットー》

『強い義務感を持つ 義務は全ての権利に伴う』

国際会長 Jenifer Jones 「より良い明日のために今日を築く」

“Building today for a better tomorrow”

アジア・太平洋地域会長 田中博之(東京多摩みなみ) “ACTION!”

東日本区理事 山田敏明(十勝) 「勇気ある変革」

東新部部長 小川圭一(東京世田谷) 「心を尽くして、YMCAのために」

クラブ会長 為我井輝忠 「感謝、信頼、地固め、そして成長！」

[クラブ役員] 直前会長 太田勝人 書記 尾張日出夫

担当主事 諏訪治邦

### 【 4月の巻頭言 】

為我井輝忠

新型コロナウイルスが4月を過ぎても依然として猛威を振り、政府の「緊急事態宣言」が出されるに至ってしまいました。4月になればそろそろ終焉に向かうのではないだろうかと思いましたが、ところがどっこい増々激しさを増してきた今日この頃です。一体いつまで続くのでしょうか。

ワイズメンズの皆様はいかがお過ごしでしょうか。毎日外に出ることもままならず、悶々とした時を過ごされているのではないのでしょうか。斯くいう私も病院や買い物に行く時以外は外に出ません。これまで例会は2月、3月、4月と連続3回も開催中止せざるを得ませんでした。5月も危うい状況です。

最後に、最近目にした聖書の一節に、「私たちは艱難をも喜んでいる。なぜなら艱難は忍耐を生み出し、忍耐は練達を生み出し、練達は希望を生み出すことを知っているからである」(『ローマ人への手紙』第5章)とあります。私たちこの艱難の時をやがて希望に至ることを信じて、日々の歩みを全うしたいと願うばかりです。

### 【 今月の強調テーマ 】

4月の強調テーマ : LT

LTとは Leadership Training の略です。

会員のリーダーシップ開発、向上、を目的に行う研修。東日本区では、区主催の部役員、クラブ役員(会長、書記、会計)の研修を企画・実施しています。

### 2020年5月例会プログラム

(注)会場は予約済ですが実施の決定は5月になります。

日時: 2020年5月20日(水)19:00~21:00

会場: 町田中央公民館 6階 美術工芸室

司会 大田勝人

1. 開会点鐘 会長 為我井輝忠

2. ワイズソングと信条 一同

3. 聖句朗読と祈祷 諏訪治邦

4. ゲストとビジター紹介 会長 為我井輝忠

5. 会食

6. 卓話:「アメリカ フロストバレーでの6年間のキャンプ経験について」  
東新部 部担当主事 池田麻梨子様

7. ハッピーバースデー

8. 諸報告 \*ワイズ関係  
\*YMCA関係

9. スマイリング献金

10. 閉会点鐘 会長 為我井輝忠

具体的には、“2020年2月1日に東日本区主催のシンポジウム”をYMCA東陽町にある社会・体育・専門学校にて開催し、わがクラブから為我井会長と太田が出席してきました。「Change 2022!」の大目標達成のために先進的な取り組みをしている甲府クラブ、千葉クラブなどの例を披露して啓発と交流を行いました。

また同じく2月15日には東新部主催の“フレッシュワイズセミナー”をYMCA山手センターにて開催し、わがクラブから為我井会長、尾張書記、松井優希、城田教寛君が出席されました。特にフレッシュなわがクラブの若い皆さんが1年経過して思いを語り、新しく学んだことを伝えて、主催者の皆さんは大変喜んでおられました。(太田 記)

### 《拡がる新型コロナウイルス禍の影響》

2月以降、4月までの全ての例会を中止致しました。

特に町田市の会議施設の貸出しが5月6日迄停止され、残念ながらクラブの活動も歌声サロンについても全て中止の已む無きに至りました。

### 《第二例会・Web会議の報告》

\*開催日：3月28日(日)～30日(月)

\*Web(テレワーク?)上で第二例会を開催

\*参加者：太田勝人、為我井輝忠、尾張日出夫

\*資料は太田直前会長作成

3月は新型コロナウイルスの影響を受けて例会も第

二例会も中止したため、互いにメールを交換して第二例会の代わりに打合せをしました。

- 1) 4月例会開催の是非と卓話者への連絡など(はたして5月は開催できるか)
- 2) 町田社協への補助金申請について
- 3) 中古PC購入と代金約3万円の支払いについて
- 4) 落ち着いたら白川さんを会員として迎えたい
- 5) 悠々園と野中ホールにおける歌声サロン(再開はコロナの落ち着くことと先方の判断次第)
- 6) ブリテンは4月号及び5月号発行について(例会開催の有無に拘わらず発行したい)
- 7) 会計担当：小林さんから返事が来ていない(ベテランティア養成講座卒業生です)
- 8) 会費未納者への納入促進のアプローチについて
- 9) 次回の例会次第について
- 10) 4月号のブリテン案について
- 11) 4月18日(土) 第3回東新部協議会について(↑その後中止になりました)

(尾張 記)

## 中国山西省の旅——各地のキリスト教会を訪ねて(前)

為我井 輝忠

これまで山西省には1度訪ねているが、2019年7月あたりから同省のキリスト教の教会を訪ねて調査してみたいと思うようになった。これまで北京、上海、大連、福州等の教会は訪れてきたが、山西省に関しては全く未知数で、どこにどんな教会があるかほとんど分からず、インターネットで調べてもあまり詳しい情報を得ることが出来なかった。

そこで、山西省に何度も行かれている知人に相談すると、太原で日本語ガイドをしている黄玉雄さんに相談してみるといいかもしれない、連絡を取ってみましょうと、お骨折りを頂いた。黄さんにメールをお送りすると、すぐには返事がなく、2か月以上も連絡が取れなかった。最終的に連絡が取れたのは広州からで、もう長く広州にいるということであった。しかし、この調査旅行は引き受けましょうと約束してくれた。それからしばらくして山西省にある教会のリストを送って下さり、そこには50～60位の教会名が列記されていた。

私の方はいつ行くか検討したが、2018年度中には難しいので、2019年の9月あたりにかけてが、季節的にはもう暑くなく時期が最適ではないかと考え、依頼した。黄さんの都合も伺い、8月下旬から9月初旬と決定した。後は航空券の手配をするだけでよかった。航空券はすぐ取れ、最初の2日分だけ太原のホテルを合わせて予約した。すべて万全の準備が出来た。後は現地ですべて予約することとした。

2019年8月22日、午後2時に羽田を立ち、上海の



ホテルの窓から見た太原の街は大都会だ

虹橋空港を経由し、太原武宿国際空港に夜10時頃に到着した。黄さんが迎えに来ているはずだったが、姿が見えない。しばらく待ったが不安になり、彼に電話をすると、明日だと思っていたが念のため私の自宅に電話をしたら、今日中国に出発したとの話に慌てて空港に向かっているとのことで、30分位してやっと会うことが出来た。

今回の旅行は、山西省の北部を回り、各地の教会を訪ねることであった。近年、中国ではキリスト教徒の急増やそれに対する中国当局の取り締まりが強化されているというニュースをしばしば目にし、多少不安もあった。また牧師の拘束や教会堂の破壊等が行われているとも耳にした。

中国は世界中でキリスト教が最も拡大していて、



筆者中央、左側がガイド、右側がドライバー

ネットで調べてもあまり詳しい情報を得ることが出来なかった。

中国は世界中でキリスト教が最も拡大している地域の一つであるが、現在、キリスト教信者の数は、天主教（カトリック）が 5000 万人、プロテスタントが 3800 万人ほどと推定される（ウィキペディアより）。中国には他国と異なり、プロテスタント教会は政府が公認している三自教会と地下教会（非公認の家庭教会）とがある。この数字は前者のみで、後者は含まれていない。家庭集会の信者数は 5000 万人と推定されていて、両者を合わせると、8800 万人と推定される。またカトリック教会の信者数と合わせると、優に 1 億人を超えている。全人口の 1% に過ぎない日本のプロテスタント人口と比較すると、その大きな数字は正に驚異的である。

一方、カトリック教会（天主教）はヴァチカンとの直接の関係は持たず、中国天主教愛国会という名称でローマ法王の直接的な指導を受けず、独自の働きをしている。外交的にみると、ヴァチカンは中華民国と国交関係を持っているが、最近では中国側がヴァチカンに接近し、交流を図ろうとしている動きがある。カトリック教会にも政府非公認の地下教会があるようである。

プロテスタント教会は中国では基督教とか耶蘇教と呼ばれているが、政府はすべての教会を 1954 年に設立された「三自愛国運動委員会」及び 1980 年設立の「中国基督教協会」という政府公認の 2 つの組織で一元的に統括しようとしている。両組織に所属する教会のみが合法とされ、所属していない教会は非合法とされる。政府に登録している合法的な教会は「三自教会」と呼ばれているが、実際そのような教派教会があるわけではない。三自教会には公認を得ることで会堂や土地、建物を合法的に取得できるという利点があるが、政府からの干渉や統制を受ける恐れがある。一方、政府に未登録の地下教会は政府による干渉、統制を忌避し、あえて登録することを拒んでいるため、土地や建物を取得することは出来ず、取り締まられる可能性が大きい。数年前に福建省福州市に住んでいた時、あるアメリカ人男性と知り合った。彼は地下教会と関わりがあり、よくそうした教会へ出かけているそうで、興味を覚え一度訪ねてみたいと思ったが、よく考える

と、それはあまりにも危険なので、断念したことがあった。

2008 年の北京オリンピックに象徴される高度成長期の 2000 年代は、宗教に対して取り締まりが比較的緩やかであったが、2012 年習近平政権になると状況が一変した。増大しすぎたキリスト教の背後に、国家転覆を目論む欧米敵対勢力による宗教的浸透政策があるとみなして、キリスト教を国家安全に関わる問題として、厳しく取り締まるようになった。近年、各地で教会を破壊したり、牧師を連行したりというニュースを目にするようになった。

今回の訪問先は太原市、原平市、代県、朔州市、忻州（きんしゅう）市、大同市で、山西省の中央部から北部へ周遊しながら、各地の教会を訪ねた。全行程をガイドの黄さんと運転手の韓さんと共に車で回った。彼らはこうした旅行は初めてだそうで、各地で興味を覚えたのか盛んに写真を撮っていた。ところによってはいくつかの仏教寺院も訪ねた。次号で合わせて紹介したいと思う。（続く）

岡本太郎とロバート・キャパ 尾張日出夫

私は写真が趣味なので色々な写真家について興味をもって調べています。ロバート・キャパは大好きな写真家の一人ですが、実はキャパとあの岡本太郎は親友だったのです。そして岡本太郎自身も優れた写真家でした。岡本太郎は岡本一平と言う風刺漫画家と作家の岡本かの子と言う著名な夫妻の一人息子です。



昭和 4 年に両親のヨーロッパ旅行に同行してフランスで別れてパリ大学に入学し、その後の 10 年余現地で芸術家の道を歩み、写真を通じてキャパとその恋人ゲルダと知り合いました。キャパとゲルダはユダヤ人なのでドイツからナチの迫害を逃れ、パリで写真家として活動中に岡本太郎と知り合ったのです。ゲルダが写真家として活動するときは語呂の良い太郎を貰ってゲルダ・タローとして活動していました。ゲルダはスペイン戦争を取材中に暴走した戦車に轢かれて亡くなりましたが、その時瀕死の中で呟いたそうです。『私のカメラは大丈夫？まだ新品なのよ』

享年 26 歳と言う若さでした。

キャパは悲嘆のあまり何日も泣き続けました。キャパはスペイン戦争を象徴する有名な作品『崩れ落ちる兵士』を世に送り出しま



したが、ゲルダもまた優れた戦場写真家でした。その作品は報道写真であり、スペイン戦争の最中に早逝したため撮影された写真は殆ど残されていません。

岡本太郎は戦場での写真こそ撮ってはいませんが、



帰国後に素晴らしい日本の情景の数多くを独特の視点で残しています。岡本太郎は写真でも一流でしたが、画家であり、皆様ご存知の通り特に造形美術の作家として広く知られています。

岡本太郎 1957年作品  
『高知県・御豊瀬港』

## 歌声サロン開催用の幟と横断幕完成！

コロナ禍で当クラブ主催のすべての行事が流れてしまいました。グランハート悠々園の歌声サロン会場が判り難い場所にありますので、木藪美歩さんがご案内用に目立つ幟と横断幕をデザインしました。

製作を業者に発注し、過日入荷して保管中です。

このように準備は整い、後は晴れの舞台を待つだけになりました。



## YMCA NEWS

4月12日はイースターです。日本語では復活祭といい、キリスト教的にはクリスマスよりもイースターの方が意味合いが深いものとしてとらえています。さて、私たちは新型コロナウイルスにより、分断され 相互のつながりが弱くなっています。

人は周囲の人と関係を持ち、人間関係を広げ喜びを感じながら生活をしています。しかし、今の状況ではその関係も分断され、非常に不安を感じる状況だと思えます。

YMCAでは、日本YMCA同盟を中心に家でできる体操等をHPで公開しています。自宅で簡単なエクササイズなどを楽しんでいただけます。どうぞご利用ください。

なお、私事ですが4月1日より、江東区の東雲児童館・東雲児童館きつずクラブ・東雲第二きつずクラブ・東雲第三きつずクラブの担当になりました。

新型コロナの影響で、児童館は閉館・きつずクラブ（学童保育）は開室しているのでばたばたとした毎日です。通勤も以前とほとんど変わりませんが、対象年来が劇的に変化しました。皆様に簡単ですがお知らせいたします。

皆さんになかなかお会いできないため、寂しい感じも致しますが、しばらく待てばきっと夜明けは来るものと信じています。しばらく我慢しましょう！大きな声で歌うことが来る日が必ずやってきます。

(諏訪治邦 記)

## これからの予定

- ① 5月20日(水) 例会 まちだ中央公民館 6F・美術工芸室 19:00~
- ② 6月17日(水) 例会 まちだ中央公民館 6F・美術工芸室 19:00~

- 例会日 第3水曜日 19:00~21:00 場所：まちだ中央公民館 6階 町田市原町田 6-8
- 第2例会 第1土曜日 13:30~15:00 場所：まちだ中央公民館 6階 町田市原町田 6-8

### 東京町田スマイリングワイズメンズクラブ

事務所：〒242-0007 神奈川県大和市中央林間 6-3-20-802 (太田勝人氣付)

☎ 046-278-5120

会費振込口座：城南信用金庫、玉川学園支店 (支店番号：075)

普通預金 口座番号：155093

口座名義：トウキョウマチダスマイリングワイズメンズクラブ